

都市再生整備計画(第11回変更)

かなざわぶんこえきしゅうへんちく
金沢文庫駅周辺地区

かながわけん よこはまし
神奈川県 横浜市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	金沢文庫駅周辺地区	面積	506.3 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標
 称名寺や金沢文庫、御伊勢山・権現山など鎌倉時代からの歴史資源と野島や海の公園などの自然資源を活用した散策路ネットワークを地区内に形成し、景観的にも優れた歴史と自然に触れ合えるまちづくりを行う。そのため、地域の玄関口となる京浜急行金沢文庫駅のバリアフリー化及び当該地区周辺及び駅とを結ぶ道路の歩行者環境を改善し、駅に至るための街路整備を促進するとともに、海辺や市街地の緑の景観形成を行うことにより、誰にとっても安全・快適で誇りの持てるまちをつくる。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

金沢文庫駅周辺地区は、江戸期以前から形成されてきた古い市街地で、道路網が脆弱であるなどの問題を抱えています。また、駅東側には十分な交通広場がないことにより、駅前の交通機能が低下するとともに、商店街のかつての活気も失われつつあります。そのため、駅東側では、交通基盤の充実を図ることと、地域の活性化や防災性の向上に向け、平成6年からまちづくり懇談会を設け、再開発の検討を継続してきています。その一方、まちづくりの基本方針を定めるため、平成12年12月に策定した都市計画マスタープランの金沢区プランでは、「横浜市の地域拠点として、商業、業務、文化などの都市機能が集積するとともに、身近に海辺の環境が楽しめる」金沢圏域の中心的地区として、また、区役所をはじめとした行政機能が集積していることから、区心としてのまちづくりを進めることとしています。これを受け、地区のまちづくりの目標と方針を定めるため、平成14年度から、自治会組織を中心とした「金沢文庫駅東側地区まちづくり協議会」を地元を設置し、都市計画マスタープランの地区プラン策定に向けた取組みを行っているところです。

課題

(1) 称名寺や金沢文庫などの史跡が数多く存在するとともに、野島、海の公園、称名寺市民の森、御伊勢山・権現山などの自然資源も豊かに存在しているが、玄関口となる金沢文庫駅へ至る街路の一部やこれらを回遊する散策路や案内板等が整備されていないため、地域資源が有効に活用されていない。また、このような良好な自然資源が豊富にあり、海辺に至る遠景等の景観にも特に配慮が必要な地域ではある。また、市街地の良好な景観を形成する樹林地の保全や活用が求められている。長大な構造物で重要な景観要素のひとつとなっている金沢シーサイドライン等については、色彩面等において周辺の景観にマッチしていない状況であり、改善を図るべき事項となっている。
 (2) このような歴史資源・自然資源を訪ねる観光客や、高齢者・障害者・乳幼児を連れた親子連れなど様々な地域住民が、玄関口となる金沢文庫駅を利用しているが、駅には上りエスカレーターしかない利用しづらい駅となっており、バリアフリー環境の充実が求められている。
 (3) 駅周辺の道路等においても、段差の低減や放置自転車の削減など、歩行者空間の安全性・快適性の向上が課題となっている。

将来ビジョン(中長期)

地区の将来ビジョンについては、都市計画マスタープラン地区プランによるまちづくりの目標と方針を策定するための取組みを行っているところである。現在、「四季の緑と潮の音 安心と歴史のまちかど」の将来像のもとに、3つの目標を定めている。

- 目標1 災害への備えも整えた安全に暮らせるまち
- 目標2 歩行者にやさしいバリアフリー環境の充実を進めるまち
- 目標3 海・山・史跡 地域資源を大切にすまち

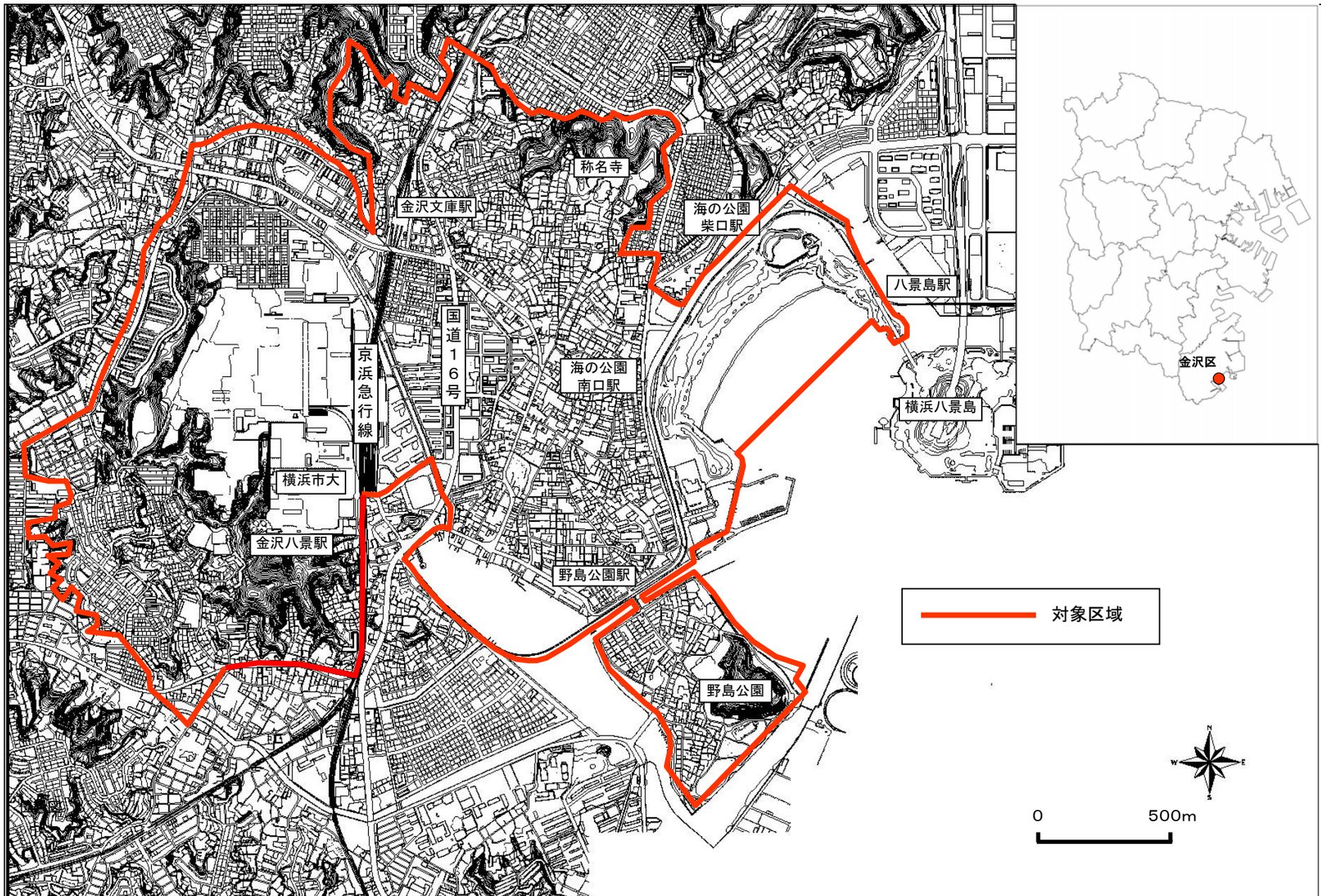
目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
金沢文庫駅1日あたり乗降客数	千人/日	金沢文庫駅年度乗車人員(事業者調べ)×2÷365日	まちの魅力向上・駅バリアフリー化により利用者が増加する	69	平成14年度	70	平成20年度
県立金沢文庫入館者数	人/年	年間入館者(施設調べ)	まちの魅力向上・アクセス道路の改善により入館者が増加する	55921	平成14年度	57409(最高値)	平成20年度
自転車等放置台数	台/日	条例で指定する禁止区域内の放置台数(横浜市調べ)	駐輪場整備や住民意識啓発により放置自転車等が減少する	324	平成14年度	0	平成20年度
野島公園利用者数	指標	野島公園利用者数(有料施設)	駅バリアフリー化・アクセス道路改善、街路整備及び野島公園を再整備することで利用者が増加する	100	平成15年度	106	平成20年度
金沢シーサイドライン3駅乗降客数	千人/年	エレベーターを設置する3駅の年度乗降客数	まちの魅力向上・駅バリアフリー化により利用者が増加する	911	平成16年度	918	平成20年度
協働作業参加者人数	人/年	播種作業などの協働作業の参加者	まちづくり活動の輪が広がり、参加者が増加する	1500	平成16年度	2500	平成20年度
緑の保全活動等に係る市民の人数	人	緑の保全に係る活動に参加した市民の延べ人数	市民参加により緑の保全・活用に係る活動が行われる	200	平成18年度	250	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の歴史資源・自然資源を回遊する散策路ネットワークを整備する事業 	称名寺プロムナード整備事業 六国峠プロムナード整備事業 海の森づくり(アマモ場再生)協働推進事業 野島公園再整備事業(公園事業) 都市計画道路横浜逗子線(街路事業) 称名寺市民の森の保全整備 御伊勢山・権現山緑地の保全整備
<ul style="list-style-type: none"> ・駅及び駅周辺道路における歩行者空間の安全性・快適性向上を図る事業 	駐輪場整備事業 野島橋の架替え 金沢シーサイドラインエレベーター設置
<ul style="list-style-type: none"> ・自然資源など地域の特性に配慮した景観形成を行う事業 	金沢シーサイドライン景観性向上事業
その他	

<p>金沢文庫駅周辺地区(神奈川県横浜市)</p>	<p>面積</p>	<p>約506.3ha</p>	<p>区域</p>	<p>横浜市金沢区谷津町、金沢町、寺町1丁目、寺町2丁目、泥亀1丁目、泥亀2丁目、町屋町、洲崎町、平潟町、海の公園、金利谷東2丁目、瀬戸、大川、金利谷東1丁目、金利谷南一丁目・二丁目、六浦三丁目</p>
---------------------------	-----------	-----------------	-----------	---



金沢文庫駅周辺地区(神奈川県横浜市)整備方針概要図

目標	歴史資源や自然資源を活用した散策路ネットワークを地区内に形成し、歴史と自然に触れ合えるまちづくりを行う。	代表的な指標	駅1日あたり乗降客数 (千人/日)	69	(平成14年度) →	70	(20年度)
			シーサイドライン3駅乗降客数 (千人/年)	911	(平成16年度) →	918	(20年度)
			協働作業参加者人数 (人/年)	1500	(平成16年度) →	2500	(20年度)

